

会議録（概要）

| | | |
|-------------|---|---|
| 会議名称 | 令和7年度 第3回愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 | |
| 開催日時 | 令和8年1月29日（木） 午後14時から午後15時まで | |
| 開催場所 | 愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1, 2 | |
| 出席者 | 別紙のとおり | |
| 欠席者 | 和田朋幸委員、安田清時委員、大園一磨委員、 小島竹志委員、土赤撰津子委員 | |
| 公開・非公開 | 公開 | |
| 傍聴人の数 | 0人 | |
| 審議事項等 | <ul style="list-style-type: none"> ●審議事項 <li style="padding-left: 20px;">（1）愛西市総合戦略（地方創生プロジェクト）について ●その他 | |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・愛西市総合戦略（地方創生プロジェクト）（案） | |
| 審議経過 | 別紙のとおり | |
| 議 事 録 の 確 定 | | |
| 確 定 年 月 日 | 署 | 名 |
| 令和8年 2月 26日 | 署名委員 水野 秀俊 | |

愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|--------|------------|
| 会 長 | 千頭 聡 | |
| 副 会 長 | 加藤 洋平 | |
| | 川上 哲広 | 代理（岡本 賢一郎） |
| | 和田 朋幸 | 欠 席 |
| | 出口 さとみ | |
| | 安田 清時 | 欠 席 |
| | 水野 善弘 | |
| | 加藤 憲治 | |
| | 平井 直人 | |
| | 水野 恵介 | |
| | 加藤 大典 | |
| | 大園 一麿 | 欠 席 |
| | 小島 竹志 | 欠 席 |
| | 水野 秀俊 | |
| | 米澤 正 | |
| | 佐藤 善昭 | |
| | 渡邊 康子 | |
| | 土赤 摂津子 | 欠 席 |
| | 恒藤 貴哉 | |
| | 横井 敏彦 | |
| | 神田 善郎 | |

職務のために出席した職員

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|--------------|--------|-----|
| 市 長 | 日永 貴章 | |
| 副 市 長 | 清水 栄利子 | |
| 市民課長 | 橋本 創 | |
| シティプロモーション課長 | 伊藤 義幸 | |
| 財政課長 | 堀田 毅 | |
| 総務課長 | 伊藤 靖幸 | |
| 健康推進課長 | 猪飼 政和 | |
| 子育て支援課長 | 前野 輝次 | |
| 産業振興課長 | 清水 直樹 | |
| 都市計画課長 | 佐藤 政樹 | |
| 企業誘致課長 | 藤澤 寿章 | |
| 市民協働課長 | 石原 優雅 | |
| 学校教育課長 | 伊藤 光 | |
| 生涯学習スポーツ課長 | 青木 万亀雄 | |
| 社会福祉課長 | 水野 裕公 | |

事務局

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|----------------|-------|-----|
| 企画政策部長 | 西川 稔 | |
| 企画政策部参事 | 大森 知孝 | |
| 企画政策部経営企画課長 | 渡邊 典夫 | |
| 企画政策部経営企画課課長補佐 | 若松 孝志 | |
| 企画政策部経営企画課主事 | 青木 智史 | |

審 議 経 過

| 発言者 | 内容（概要） |
|-----|---|
| | 開会 |
| 事務局 | 資料の確認 会議の公開と傍聴について[愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第3条] 会議録の作成 [愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第11条] |
| 会 長 | 1. あいさつ ＜会長あいさつ＞ |
| 市 長 | ＜市長あいさつ＞ |
| 会 長 | 2. 会議録署名委員の指名 ＜議事録署名委員として水野 秀俊委員を指名＞ |
| | 3. 議題 （1）愛西市総合戦略（地方創生プロジェクト）について |
| 会長 | 愛西市総合戦略（案）について説明をお願いします。 |
| 事務局 | （資料1に沿って説明） |
| 会長 | 何か御意見・御質問はありますか。 |
| 委員 | <p>9ページについて、将来、日本の人口は8,500万人程度まで減少する見通しがある。人口が減ったときに税収や市街地の面積などについて、人口が減った場合のメリットも含めて検討していただきたい。</p> <p>11ページについて、第二創業という言葉は経済学の分野では行き詰まりの時に使う人もいる。第二創業の支援をするという時には例えば「高付加価値化」「事業転換」等の言葉を使用して支援すると言うようにすると思います。</p> <p>インキュベーターを作ってほしいと思います。新規ではなく、どこかの施設に付随して作れば良い。鰯江町に永和コミュニティがあり、富吉駅も永和駅も近く、郵便局も近いほか、高速道路へも接続が良い。そういった場所に有料の部屋貸しをするような計画があるか質問します。</p> <p>13ページについて、子育ての政策については始めるメリットとデメリット、やめるメリットとデメリットを考えて計画をお願いしたい。コミュニティで子どもたちを見守るようなことを今後お願いしたい。</p> <p>12ページについて、今年の夏ごろから広報でイベントや口座の情報が増えています。イベントがあるということは、関係人口や交流人口を</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>増やすという直接的に見える視点のほか、集まった人の中からボランティアの発掘をするという隠れた視点がある。未来のボランティアのリーダーに結び付けていただきたい。</p> <p>最後に、市役所の窓口受付時間が午前9時から4時に変更となりましたが、職員の働き方に変化があったか質問します。</p> |
| 職員 | <p>インキュベーターについての計画はありませんが、馴染み自体がないと思うので情報収集、研究から取り組んでいきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>第二創業という言葉にネガティブな意味合いが出るため「支援」としてはどうかという御意見でしたが、検討ください。</p> |
| 事務局 | <p>総合計画、総合戦略ともに人口減少を受け止めて減少した中での施策について提案しています。何十年先までは見通しが難しいが、総合戦略の計画期間、もしくは総合計画の8年間については視野に入れた形で計画をしています。</p> <p>税収がどのように動くかなど、需要と供給をバランスよく進めていきたいと考えています。</p> |
| 職員 | <p>コミュニティでの子どもの見守りについて、市では児童館及び子育て支援センターで児童クラブや居場所づくりの取組を行っており、引き続き児童館及び子育てセンターで取組を行っていききたいと考えています。</p> |
| 事務局 | <p>次世代のボランティアについてです。現在いるボランティアを育て、そういった方を中心に次世代を育てていく取組を続けていきたいと思っています。</p> |
| 事務局 | <p>窓口受付時間を変更したことで各課政策課題への取組、課内の情報交換に取り組んでいます。また、時間外勤務については既に圧縮ができていることを数字上で把握しています。</p> |
| 委員 | <p>6ページの人口推移について、愛西市にはこれといった産業もないのに外国人人口が増えていることに驚きました。人口分布から見ればある程度外国人の受入れをしなければ人口減少に歯止めはかけられないと思いますが、愛西市として外国人の受入れについてはどんな形で取り組むのか質問します。</p> <p>もう一点、中学の部活動についてです。部活動はコミュニケーションや礼儀作法など様々な意義があったと思いますが、今後難しくなってくると教育が荒廃しないか懸念しています。出生率の向上、子育ての支援も大事だと思いますが、中学生生活をいかに充実させるかも非常に大きな問題になると思います。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>外国人人口が増えていることには、本市は比較的家賃が安く、電車も通っているため、電車で働きに行くというケースが多くあるように考えています。また、空家についても外国人が借りて住み、他市で働いている方がいるというのが実感です。</p> <p>積極的に外国人の雇用を進める、専門の職を斡旋するようなことは考えていませんが、周囲の状況に応じて本市でも今後も増えていくのではないかと考えています。</p> |
| 職員 | <p>本市だけではなく全国的に部活動の地域展開に取り組んでいます。本市では部活動指導員を配置し、土日の部活動における教員の負担を減らすような取り組みを進めています。</p> <p>部活動には様々な意義がありますが、子どもの意見では楽しくやりたいという意見が多く、大人との間でギャップがありますが、地域展開においてギャップを埋められるよう、アンケートを取りながら進めていきたいと考えています。</p> |
| 会長 | <p>地域の中で育つという観点から見れば部活動の地域展開は地域と接するチャンスであり、学校・地域・家庭というファクターのバランスという観点では地域以降に意義があると思います。</p> |
| 委員 | <p>愛西市総合戦略の地方創生プロジェクトについて、道の駅が各プロジェクトを横断的に繋いでいくのではないかと感じています。プロジェクトは独立したのではなく、横同士で相互に連携しあっているものであり、道の駅が軸となってプロジェクトを繋ぐ役割を果たしていくように思います。</p> |
| 事務局 | <p>道の駅はシビックプライドの醸成につながるものと考えています。</p> <p>子育てができる環境、住み続けたいと思う環境が整っていることも重要な要素であり、道の駅を含む全体の計画として捉え、道の駅もあると謳えるようにまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> |
| 会長 | <p>12ページの HASU パークを核とした観光イベントというところに書き加えられないか検討いただけますか。</p> |
| 副会長 | <p>今後計画をどのように進めていくか、進捗管理が大事になると思います。今回総合計画と総合戦略が一体となっているが、評価は総合計画は総合計画、総合戦略は総合戦略というようにしていくのか。</p> |
| 事務局 | <p>総合戦略推進委員会で総合戦略の指標管理をしていきたいと考えています。</p> |

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>総合計画全部の市民評価を毎年するのは大変なので総合計画は5年に1回くらいは外部の評価をし、毎年は戦略を軸にした評価をしていくということでもいいでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>総合戦略は4年、総合計画は8年の計画です。総合計画にも総合戦略と関係の事業が多いためそれらを含めて指標管理や進捗状況への御意見をいただきたいと考えています。</p> |
| 委員 | <p>12ページのふるさと応援寄附者数について、以前の資料では5,400人だったと思いますが、今回は12,000人となっているので間違っていないか確認します。</p> <p>また、14ページの訓練を実施した自主防災活動団体の割合も前回目標値が90%であったところが83%になっているので説明をお願いします。</p> |
| 職員 | <p>令和6年度から毎年伸び率を計算した結果が令和11年度の目標値であり、12,000人で間違いありません。</p> |
| 事務局 | <p>自主防災活動団体の割合については数字を持っていませんので改めて回答します。</p> |
| 会長 | <p>いくつかご指摘はありましたが行政に判断を任せ、微修正はあるものの全体として戦略とビジョンはこれでよいということによろしいでしょうか。</p> <p>(委員承諾)</p> <p>4. その他</p> |
| 会長 | <p>事務局から何かありますか。</p> |
| 事務局 | <p>ご議論ありがとうございました。</p> <p>これまでにご審議いただいた戦略について、一部語句修正等はありませんが概ね完成をしました。今後は戦略が形骸化しないよう取組を推進していきたいと思います。</p> <p>委員の皆様は今年度をもって任期を迎えますが、来年度の委員改選に向けて各団体へは年度が替わってから委員の選任を依頼しますのでよろしくをお願いします。</p> <p>今後は戦略の取組に関して本市に関わる方の代表として御意見を伺いたいと思います。</p> <p>本日の委員会を終わります。ありがとうございました。</p> |

